

### NO13

#### 弾痕のある民家の煉瓦塀

所在地は津市神戸地区（三交バス 上神戸下車）



1945年4月7日、津市は3度めの空襲を受けました。

神戸地区には十発の爆弾が投下され、うち一発が大善寺で炸裂し、爆弾の破片が民家のレンガ塀に無数の弾痕を刻みました。

現在もレンガ塀には痕跡がいくつも残っています。

着弾地点から10メートルほど離れているにも関わらず、残る弾痕に爆弾の威力のすさまじさが想像されます。

この日の空襲で32人が神戸地区で亡くなりました。

津市の第二次大戦の戦災状況については、「津の戦災 記録と回想」（津平和のための戦争展実行委員会発行）にまとめられています。

津の空襲や被災の状況をくわしく知ることができる貴重な資料となっています。

20051125 掲載